



発行日/2018年6月22日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

# みみよい

37

【あいさつ】

阿部 智美

みなさんは、大阪での全国ろうあ者大会に行かれましたか？ 私の周囲では「旬」な話題なので取り上げてみました。

全国ろうあ者大会の初日は式典・アトラクションで、4千人以上の聴覚障害者や手話のできる人が大阪城ホール近くに集まっており、手を動かす方があちこちに！ 普段はなかなか見かけない光景でした。ただ、それ以上に大阪城への観光客や近くでのイベントに参加する人が多く、見渡してみるとやはり手話を使う人は「少数」などと、改めて感じた瞬間でした。

現在、堺市でも手話

言語・コミュニケーション条例が成立されたように、各地で手話を言語として認める条例づくりの運動が進んでいますね。

社会・国民の理解をいただくとともに、私たち聴覚障害者も手話を言語として身につけ、手話で伝える力をつけたいと思います。ない時代になってきたと感じています。手話の「5つの権利(図1)」を肝に銘じて、私も手話での会話がスムーズにできる力をより磨いていきたいと思っています。

## みみサロンを開催しました

5月19日(土)みみサロンを開催、講師に吹田市在住の坂本 久美(さかもと ひさみ)さんをお招きしました。教員をされ



図1



ない教師でいいんだ」と自信が持てるようになったと話されています。聞こえない人が1人だけという環境で

学級担任もされていた坂本さんが、「突発性難聴」で失聴されたのは30歳のとき。教員は常に児童や周りの先生とコミュニケーションをとる必要があるのですが、坂本さんは退職される58歳まで、ずっと小学校で教鞭をとられました。以前は手話も普及しておらず、聞こえない人もなかなかみかけなかった時代だと思います。そんな中で、どうやって明るく、たくましくやってこられたかをお聞きすることができました。



は、自分ができること・できることをきちんと伝えて、周りをうまく巻き込む力が大事になってきますね。

最初から最後までパワフルで、体全体を使って表現してくださった坂本さん、ありがとうございました。現在でもご自宅の敷地に「ひまわり教室」を立ち上げ、主に聞こえないお子さんや親御さんを対象としたイベントや支援もされています。この先、こういった素晴らしい取り組みがどんどん増えてほしいですね。

## 「難聴」あるある 運転編

運転中に、バックミラーで何台か後ろにピカピカ光らせて走っているパトカーを発見。

「よし！早めに道路の端に寄せよう」

と減速して少し寄せるが、

他の車は普通に走っていると気がつく。

「ん？」 窓を開けて

サイレンの音を確認

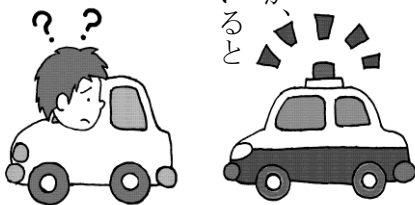
音が聞こえへんなあ…。

事件でないようだ。

ドキドキしながら、光るパトカーの前

を走る。

『赤色灯をつけるのは、緊急時だけにしてもらえないかなあ。そしたら勘違いしないのに』が難聴者のつぶやきです。



聞こえのセミナーを開催しました

5月23日

(水)の聞こえのセミナーでは、「会話の見える化アプリ UDトーク」の体験会を実施しました。アプリ開発者のシャムロック・レコード株式会社代表取締役 青木秀仁さんにお越しいただき、アプリの使い方や編集方法を教えていただきました。



難聴当事者やご家族の方はもちろん、行政や大学の職員さん、聴覚障害の方と一緒に仕事をしている方、堺市の登録要約筆記者の方々がご参加くださいました。グループでの体験会では、最初はなかなかうまく使えませんが、慣れるにつれて声を文字に変換したり、手書き入力を使ってみたりと、「会話を文字で伝える・文字で見る」体験に熱が入りました。

下段の写真は、VRゴーグルを使った最新機能。要約筆記を利用するときの悩みは、スクリーンを見ていると話し手や講師の資料が見えないこと。ゴーグルにスマートフォンをセットすると、話し手と文字が同時に見えるので、そんな悩みが解消されます。当事者からは、「これ欲しい！家でも使



いたい！」の声も。センターの窓口では、いつでもUDトークの体験ができます。VRゴーグルも用意していますので、試してみたい方はお声かけくださいね。



ゴーグルの中はこんな感じ  
中央に講師、右端に司会。  
字幕が下部に出ています。

保護者学習会を開催しました



6月16日(土)、「人工内耳と手話」をテーマに、今年第1回の保護者学習会を開催しました。講師は、大阪府立大学4回生の笹倉佑子さん。人工内耳の装用者です。

補聴器ではほとんど聞こえず、6歳4カ月の時に片耳の人工内耳手術に踏み切った笹倉さん。一般には、言葉を覚えるための脳の臨界期は6歳と言われているようですが、日々の言語訓練により、ことばを習得していったそうです。

元々、家の中では手話を使う環境にあり、また、ご両親の頑張りもあって小・中学校では難聴学級に通うことができました。ここでも手話でのサポ

ートがあったこと、聞き取りの力もついていったことで、それほど困ることはなかったか。けれども、高校は義務教育ではないことから「自分でノートテイカーを見つけるように」と言われ、ほかの生徒は勉強と部活に励んでいる間、自分は交渉したり、ノートテイカーを見つけたらしなければならず、結果、せっかく所属した部活に参加することはできなかったそうです。また、大学でも自分に合った情報保障を用意してもらうために、やはり交渉したり、自分の状況を説明したりが必要だったとのこと。聞こえない人が聞こえる人と同等の環境を得るために苦労を強いられることへの疑問は感じながらも、交渉力・説明力の大切さも語ってくださいました。

『人工内耳をしていると、周囲の人は「全部聞こえる」と思ってしまう。自分自身も「聞こえていない」ことには気づけない。情報保障が入って初めて、聞き間違えたり、聞き落したりしていたことに気づく。』『聞き取ることに一生懸命で疲れてしまふ。聞きたくないときは外してしまふ。』『集団の場面では、友達が気を遣ってくれることが申し訳なく、わかったふりをすることもある』など、たくさんさんの体験を語ってくださいました。





人工内耳の手術や、手話と日本語学習の関係性にはさまざまな考え方があります。けれど、「選択肢を増やす」ことが「生きる力」につながっていくのかもしれない。実際、笹倉さんのお話の中にも、「選択」という言葉が何度か出ていました。今回は、人工内耳装用の中学生ご本人の参加もあり、「未来の自分」について思いを馳せてくださったようです。また、保護者からも「情報をたくさんください。子どもに押し付けず、一緒に考えていきたい」との感想が寄せられました。たくさんの方のメッセージを伝えてくださった笹倉さん、ありがとうございました。そして、笹倉さんご自身も未来に向かってはばたいてくださいなね。

保護者学習会は、「ろう・難聴児の心理・言語の発達」をテーマに、年3回開催しています。学びはもちろん、子育ての悩みを分かち合い、情報交換できる場にしていきたくと思っています。学習会中は、手話ができる保育士さんにご協力いただき、1歳以上の子どもの保育も実施しています。ろう・難聴の子どもたち同士が出会い、一緒に遊べる機会として、ぜひご参加ください。また、講演テーマについてのご希望もお寄せくださいなね。

### 日常生活用具の給付品目に人工内耳の電池 充電電池 充電器が追加されました！

対象…聴覚に係る身体障害者手帳を有し、人工内耳を装着している堺市民の方  
購入される前に事前相談と申請が必要です。  
居住区の保健福祉総合センター・地域福祉課  
にお問い合わせてください。

### もしサロン 筆談会の部

文字で内容を確認しながらおしゃべりを楽しむ交流の場です。

5月9日 参加者2名

テーマ「手話の話」

6月9日 参加者1名

テーマ「いろんな聞こえの情報を知る」



今回は7月5日(木)

午後2時から4時

2階 研修室にて

事前申込不要です。

毎月開催することになりました。  
お気軽にご参加ください。

(担当：芦田・阿部)

## お知らせ

・ ・ さかい聴覚障害者防災ネットワーク ・ ・

以下の日程で、講演会・学習会を開催します。

#### 〔講演会〕

日時：2018年7月8日(日) 13時30分～14時50分

場所：堺市総合福祉会館 5階 大研修室

内容：「神戸市灘区での障害者防災訓練の取り組み」

講師 神戸市灘区自立支援協議会 事務局 山本 雅 氏

きらく共生部会 部会長 佐々木 勝也 氏

部会長代理 三谷 有美子 氏 ・ 山村 妙子 氏

#### 〔学習会〕

日時：2018年8月18日(土) 10時～16時

場所：堺市総合福祉会館 5階 大研修室

内容：午前の部 講演「災害時に聴覚障害者がどう動けばよいのか」

講師 佛教大学 後藤 至功 氏

午後の部 避難シミュレーション

詳細は下記に

お問い合わせください

さかい聴覚障害者

防災ネットワーク事務局

TEL&FAX : 072-222-6028

## 手話奉仕員・通訳者養成講座

### 手話通訳者養成講座 基本課程

手話通訳者養成講座は5月から始まっていますが、手話講習会が6月20日から始まります。今年度の手話講習会の申込者は100名を超えました。手話言語コミュニケーション条例のおかげでしょうか、もっともっと手話が広がればうれしいですね。

## 要約筆記者養成講座

### 講座受講生を募集しています

6月6日から始まりました。4名の受講生です。難聴者との交流をしながら、「聞こえ」に関して学んでいます。25回の長丁場なので、最後まで休まず修了できるように応援しています。ファイト！

### センターの行事

7月 5日(木) 14:00~16:00

「もじサロン」 ※申込不要  
筆談会の部

7月 13日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

7月 21日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※事前申込  
手話うた・講演など

8月 25日(土) 14:00~16:00

「もじサロン」 ※事前申込  
わいわいおしゃべり会

☆中学生以下の親子企画☆

7月 28日(土) 11:00~14:30

「親子クッキング」 ※事前申込

8月 1日(水) 14:00~16:00

「工作教室」 ※事前申込

8月 24日(金) 10:00~11:30

「パントマイム教室」 ※事前申込

※ 宿題応援隊：申込日で調整

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

### ビデオライブラリーのおすすめ

「ろうを生きる難聴を生きる 旅がくれた生きる勇気」

難聴の映画監督・今村彩子さん。今村さんは大学卒業後、耳が聞こえない人を主人公にしたドキュメンタリー映画を制作してきました。そんな彼女が、自身の母の死をきっかけに、聴者に対する心の壁を乗り越えようと、自転車での日本縦断の旅に出ます。

「ろうを生きる難聴を生きる 夢をかなえるために

～プロ野球山田遥楓選手～前編・後編」

西武ライオンズから5位指名を受けてプロ入りした山田遥楓（やまだはるか）選手は19歳。2年目の今年は、1軍昇格を目指しています。しかし彼は、右耳が全く聞こえません。プロの世界では、時にそれが大きなハンディとなり、危険なプレーにつながります。山田選手の挑戦の日々を追っています。

### 頑張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

実施済

新規登録者研修会 4/25・5/11

新規登録要約筆記者実技研修会 5/16(PC)

要約筆記者研修会(手書) 5/30「ノートテイク

登録者合同研修会 6/23「日本語ブラッシュアップ」

手話通訳者研修会 7/11「報告書の書き方」

要約筆記者実技研修会 7/28(PC)「一人入力・連携入力」

### 事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
4月	派遣数	276件	9件	15件	10件	25人	54本
	派遣人数	307人	18人	23人	41人	新規登録者：7人	
5月	派遣数	241件	18件	15件	9件	30人	63本
	派遣人数	252人	38人	29人	36人	新規登録者：2人	

ご協力  
ありがとうございます  
ございました。

